

# 熊中

クールないかした生徒  
 マナーを守る(礼儀をわきまえた)生徒  
 ニーズがある(必要とされる)生徒  
 シーンを創れる場面を演出できる)生徒

校長室だより  
 第 15 号  
 北九州市立熊西中学校  
 校長 江口 恵子

## 全校で俳句や川柳に取り組んでいます

### 俳句大会で十四名表彰

ご存じのように、本校は、三年前から俳句づくりに取り組んでいます。

俳句は、世界で最も短い詩で、その多くが自然と共に生きてきた日本人の心をうたっています。日本語がもつ美しいリズムにもふれてほしいと思い、今まで取り組んできました。

その成果が少しずつ表れてきたのか、このたび「第一二回榎山荘子ども俳句大会」(全三七二句)で十名、「第九回ひびしん俳句大賞」(全二九七九句)で二名、「第二回四ふくおか県民文化祭」(全約八〇〇〇句)で二名表

彰されました。すばらしい快挙です。以下、表彰された作品を紹介します。



子ども俳句大会表彰式  
 榎山荘子ども俳句大会実行委員会

秀作(岸原清行選)  
 盆踊り遠のいてゆく祖母の背よ 二年 中原 祥  
 秀作(坂井愛子選)  
 子は寝てもうちわは動く母の手よ 二年 池田 陸人

佳作  
 鹿達とあうんの呼吸南大門 三年 加来 琳次朗

梅雨の空雨でもきれいな姫路城 三年 畑 朝日  
 進むたびうぐいすの声二条城 三年 池田 陽南子

さみだれのしずくしたたる白き城 三年 古後 春加  
 汗流し古都の歴史を学ぶ旅 三年 田嶋 優太郎

あじさいのしずくが光る雨上がり 三年 山田 菜月  
 夏祭り心が踊る太鼓の音 二年 茶園 綾華

笛や天をつきぬけどこまでも 一年 山口 未遙  
 第九回ひびしん俳句大賞  
 ひびしん理事長賞

浴衣からほのかに香るりんごあめ 二年 竹崎 楓花  
 窓開けて訪れた春吸いこんだ 二年 神崎 愛奏美



### 川柳大会で五名表彰

川柳も俳句と同じ(五・七・五)の十七音定型ですが、川柳では、季語や切れ字には特にこだわりません。また、俳句は主に自然を対象に詠みますが、川柳では人事を対象に詠みます。

「北九州芸術祭 第七回北九州ジュニア部門(小・中学生)川柳誌上大会」で、以下五名が表彰されました。  
 川柳課題「顔」  
 北九州市長賞

ふくおか県民文化祭俳句大会  
 特選

七五三かわいい時期は誰にでも 二年 谷口 晴樹  
 秀作

新緑の森の中には小川かな 一年 三枝 優希  
 これからも、俳句づくりを通して、自然を見つめ、言葉を磨いていくようにしたいと思います。

笑顔咲くその瞬間が好きなんだ 二年 井本 美羽  
 北九州市教育委員会賞  
 かわいいな川の向こうの女の子 二年 中川 政哉  
 芳賀文化財団特別賞

リップから紅に変わった姉の顔 二年 岩本 大亮  
 北九州川柳作家連盟賞  
 ついてるよほん一粒君の顔 二年 河瀬 澤威  
 鏡見て笑ってみれば俺の顔 二年 志賀 圭祐